

イチゴの観察をしよう

「イチゴ」といっても、いろいろなイチゴがあります。
さて、イチゴの果実とはどこでしょう？

こども科学館ニュース かがくニュース

知っていましたか？

じっくり見てみよう イチゴの果実はどこ？



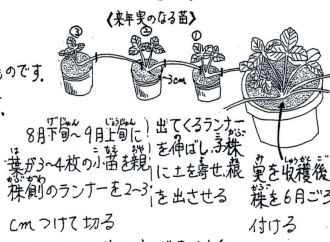
オランダイチゴ

イチゴと言えば、スーパーで売っていたり、ケーキの上ののっていたりする オランダイチゴを思い浮かべる人がほとんどだと思います。しかし、イチゴと名のつく植物はたくさんあります。今回はイチゴについて調べてみましょう。

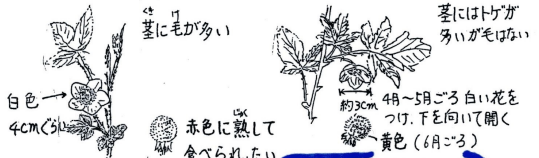


受精しても子房は大きくならず
花床が花のあと発達しふくらんだものが、イチゴとされているものです。
たねは中にはなく、外についています。これは子房の変わったものです。

イチゴの果実は正確には、種子を
つつんでいるまわりの小さなつぼみ
状のものをいいます。

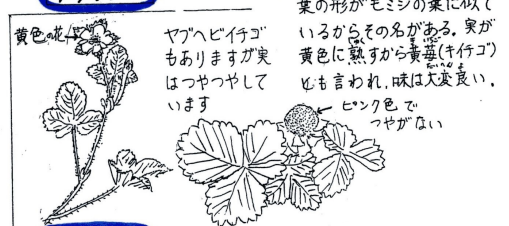


走茎(ランナー)のところで
どこから芽を出し増えていく
(来年実のなる苗)
8月下旬~9月上旬に出るランナーを
葉が3~4枚のランナーを2~3cmつけて切る
①②の苗の方がたくさん
実がなります



クサイイチゴ

モミジイチゴ(キイチゴ)



ヘビイチゴ

葉の形がモミジの葉に似ているからその名がある。実が黄色に熟すから黄毒(キイチゴ)とも言われ、味は大変良い。ピンク色でツヤがない
ヤブヘビイチゴもありませんが実はずつやつやして
実を収穫後良い株を6月ごろ植え付ける

黄毒は毒だと思っている人はけっこういるのではないのでしょうか。これは、毒ではありませんが食べてもおいしくありません。